

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		議員報酬等				部名	議会事務局		グループ名	議事グループ	
						課名	議事課		担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	1	議会費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	1	議会費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	議会費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠外経費 5		地方自治法		
事業の種類	ソフト事業	類型区分	I			補助団体					
裁量の有無	裁量なし	総合戦略	④	(ウ)④							
2. 事業内容											
事業目的		地方自治法で義務付けられている議員報酬等の支払い。									
事業概要		市議会議員の報酬、期末手当、市議会議員共済会負担金等の支払い。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	議員18名		議員18名		議員18名		議員18名		議員18名		
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
事業費	計画額	126,474		125,474		126,827		125,005		125,005	
	予算現額	125,474		125,926		125,010					
	決算額	120,750		126,668							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	125,474		125,926		125,010		125,005		125,005	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値						128130					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	法律、条例に基づき適切な執行をする。									
	B) Aにおける対応策										
	C) 新たな課題等	法律、条例に基づき適切な執行をする必要がある。 議員報酬及び政務活動費についての研究をサポートする必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	B				効率性	B					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		議会委員会調査研究事業				部名	議会事務局		グループ名	議事グループ	
						課名	議事課		担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	1	議会費	事業開始年度	平成25年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	1	議会費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	議会費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		16		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)④						
2. 事業内容											
事業目的		市政発展のため必要な調査、研修及び行政視察を行い、議員の政策形成及び立案能力の向上を図り、調査研究の成果を市政に生かすことを目的とする。									
事業概要		議員と執行部による行政視察の実施及び検討結果の報告。 各常任委員会、各委員会、特別委員会の行政調査研究の実施。 議員研修会、市民と議会との講演会の開催。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
		委員会及び執行部による行政視察 議員研修会 市民との講演会	委員会及び執行部による行政視察 議員研修会 市民との講演会	委員会及び執行部による行政視察 議員研修会 市民との講演会	委員会及び執行部による行政視察 議員研修会 市民との講演会	委員会及び執行部による行政視察 議員研修会 市民との講演会	委員会及び執行部による行政視察 議員研修会 市民との講演会				
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	3,289	3,293	4,289	4,362	4,362					
	予算現額	3,290	4,210	4,362							
	決算額	2,059	2,528								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	3,290	4,210	4,362	4,362	4,362					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値						3289					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	議員の資質向上を図るべく、行政視察や研修の内容を検討する。									
	B) Aにおける対応策	議員の資質向上に効果的な無料のオンライン研修等を取捨選択し、議員への参加を募った。									
	C) 新たな課題等	さらなる議員の資質向上を図るべく、行政視察や研修の内容を検討する必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	B				必要性	B					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要										
事業名称		議長交際費			部名	議会事務局		グループ名	議事グループ	
					課名	議事課		担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり		予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり			款	1	議会費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	行財政改革の推進			項	1	議会費	事業終了年度	
	主な事業					目	1	議会費	関係法令等	
重点事業区分					経費区分	経常枠内経費 40		下野市議会議長交際費支出及び公表基準		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体				
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)④					
2. 事業内容										
事業目的		他団体との交流を図るため、議長交際事業関係予算を計上する。								
事業概要		他団体との交流を図る。 下野市議会議長交際費支出及び公表基準に基づき執行する。								
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
		他団体との交流	他団体との交流	他団体との交流	他団体との交流	他団体との交流				
◎事業費										
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
事業費	計画額	300	300	300	300	300				
	予算現額	300	300	300						
	決算額	82	158							
財源	国県支出金	0	0	0	0	0				
	地方債・その他	0	0	0	0	0				
	一般財源	300	300	300	300	300				
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値										
指標名称							指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】				
実績値						300				
目標達成率										
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	前例にとらわれず、適否の判断を行い支出する。								
	B) Aにおける対応策									
	C) 新たな課題等	引き続き、前例にとらわれず、適切な支出をする必要がある。								
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。										
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)				
効率性	B	ソフト事業 <input type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用				<input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難		ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見込めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている		
総合評価	継続実施									
5. 2次評価										
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望									
委員会判定					市長判定					
必要性	A				必要性	A				
有効性	B				有効性	B				
効率性	B				効率性	B				
総合評価	継続実施									
6. 評価結果 ※市民評価実績										
総合評価	継続実施									
備考										

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		議会運営費				部名	議会事務局		グループ名	議事グループ	
						課名	議事課		担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	1	議会費	事業開始年度	平成18年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	1	議会費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	議会費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		45		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)④						
2. 事業内容											
事業目的		自治体の意思決定機関としての議会運営を円滑に行うことを目的とする。									
事業概要		議会運営全般に必要な経費。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
		本会議会議録の調製 会議録検索システム データ作成 全国、関東、県、県南6 市議長会負担金	本会議会議録の調製 会議録検索システム データ作成 全国、関東、県、県南6 市議長会負担金	本会議会議録の調製 会議録検索システム データ作成 議会映像配信サービスの運用 全国、関東、県、県南6 市議長会負担金	本会議会議録の調製 会議録検索システム データ作成 議会映像配信サービスの運用 全国、関東、県、県南6 市議長会負担金	本会議会議録の調製 会議録検索システム データ作成 議会映像配信サービスの運用 全国、関東、県、県南6 市議長会負担金	本会議会議録の調製 会議録検索システム データ作成 議会映像配信サービスの運用 全国、関東、県、県南6 市議長会負担金				
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	6,438	4,543	6,667	4,890	5,073					
	予算現額	5,380	4,666	5,636							
	決算額	4,188	3,479								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	2	2	2	0	0					
	一般財源	5,378	4,664	5,634	4,890	5,073					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値						4560					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	議会運営に必要な専門的知識を習得し、効率的に実施できるよう能力向上に努める。									
	B) Aにおける対応策	市民に開かれた議会運営を目指し、迅速な映像配信サービスの提供を行った。									
	C) 新たな課題等	引き続き、議会運営に必要な専門的知識を習得し、効率的に実施できるよう能力向上に努める必要がある。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分		<input type="checkbox"/> 2次評価基準による		<input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による		<input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる		<input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望			
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施				総合評価	継続実施					
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施				-						
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		議会ペーパーレスシステム事業				部名	議会事務局		グループ名	議事グループ	
						課名	議事課		担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	1	議会費	事業開始年度	令和2年度
	施策	1	行財政改革の推進				項	1	議会費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	議会費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		17147		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	I		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)④						
2. 事業内容											
事業目的		タブレット端末導入により、議会内の情報伝達・情報共有の迅速化を図るとともに、ペーパーレス化を推進し、資料印刷、郵送料等に要する時間と経費節減を図る。また、災害発生時の対応ツールとして活用する。									
事業概要		タブレット端末の導入・活用によりペーパーレス化を図り、議会ICT化を推進する。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
		タブレット端末の活用	タブレット端末の活用	タブレット端末の活用	タブレット端末の活用	タブレット端末の活用					
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
事業費	計画額	2,402	2,666	2,796	2,873	2,673					
	予算現額	2,402	3,198	2,673							
	決算額	2,402	2,943								
財源	国県支出金	0	0	0	0	0					
	地方債・その他	0	0	0	0	0					
	一般財源	2,402	3,198	2,673	2,873	2,673					
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称							指標の計算式等				
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値						2501					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	タブレット端末の有効活用による更なる業務効率化。									
	B) Aにおける対応策	災害時の垂直避難を想定し、タブレットを活用した自宅からのオンライン会議の開催のための要綱等の整備、訓練を行った。									
	C) 新たな課題等	タブレット端末の有効活用による更なる業務効率化を図るため、庁内各部署との調整が必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)									
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	継続実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A				必要性	A					
有効性	B				有効性	B					
効率性	A				効率性	A					
総合評価	継続実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	継続実施										
備考											

令和6年度 事務事業評価シート

1. 概要											
事業名称		議会広報事業				部名	議会事務局		グループ名	議事グループ	
						課名	議事課		担当者名		
総合計画	施策大綱(目標)	6	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり			予算科目	会計名	一般会計		新規・継続	継続
	基本施策	2	健全な行財政運営の仕組づくり				款	1	議会費	事業開始年度	平成18年度
	施策	3	広報・広聴の充実				項	1	議会費	事業終了年度	
	主な事業						目	1	議会費	関係法令等	
重点事業区分						経費区分	経常枠内経費		35		
事業の種類		ソフト事業	類型区分	Ⅲ		補助団体					
裁量の有無		裁量あり	総合戦略	④	(ウ)④						
2. 事業内容											
事業目的		下野市議会基本条例の基本理念である市民にわかりやすい議会を目指して、議会広報紙「議会だより」を発行し、議会の活動内容等を市民に周知する。									
事業概要		「下野市議会だより」（年4回）発行にかかる印刷製本費。									
事業計画 (基準年度前後5年間の概要)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		議会だより 17,300部×4回		議会だより 17,300部×4回		議会だより 17,300部×4回		議会だより 17,300部×4回		議会だより 17,300部×4回	
◎事業費											
(単位:千円)		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
事業費	計画額	1,939		2,032		2,405		2,177		2,177	
	予算現額	2,032		2,113		2,177					
	決算額	1,801		2,080							
財源	国県支出金	0		0		0		0		0	
	地方債・その他	0		0		0		0		0	
	一般財源	2,032		2,113		2,177		2,177		2,177	
3. 評価指標・課題等 ※指標名称は市民意識調査結果により数値化した値や事業独自で設定した値											
指標名称								指標の計算式等			
目標及び実績値等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度【目標値】					
実績値						2004					
目標達成率											
課題・懸案事項	A) 昨年度の課題等	より効果的な情報発信の手法の研究									
	B) Aにおける対応策	各種情報を収集し、議会だより編集委員会をサポートした。									
	C) 新たな課題等	議会に関心をもってもらうために、さらにわかりやすく読みやすい紙面づくりが必要である。									
4. 1次評価 ※必要性・有効性・効率性はA・B・Cの3段階評価とし、総合評価は継続・見直し・廃止で評価する。											
必要性	A	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化等に適合 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体・議会等から要望や要請がある				<input checked="" type="checkbox"/> 業務上必要であり、代替案がない、もしくは最適な方法である <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
有効性	B	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与 <input checked="" type="checkbox"/> 地方創生(人口・関係人口増)やSDGs、国土強靱化に寄与する				<input type="checkbox"/> 適切な評価指標の設定があり、達成に向けたプラン・動きがある <input type="checkbox"/> 市裁量なし(1.概要「裁量の有無」でなしを選択した場合)					
効率性	A	ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 質を維持しつつ、事業費削減や取組方法を見直す <input type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正 <input checked="" type="checkbox"/> 他課や他自治体、市民団体等と連携 <input checked="" type="checkbox"/> 他自治体等と比較し、適切な方法である <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入等、民間活力を活用 <input type="checkbox"/> 管理業務等で、さらなる効率化は困難				ハード事業 <input type="checkbox"/> 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる <input type="checkbox"/> 適正な活用率を見定めるよう検討された事業規模である <input type="checkbox"/> マネジメントの観点から維持費等について十分検討されている					
総合評価	見直し実施										
5. 2次評価											
事業区分	<input type="checkbox"/> 2次評価基準による <input type="checkbox"/> 市議会・監査等での指摘による <input type="checkbox"/> 横出し嵩上げによる <input type="checkbox"/> 全庁的観点から評価を希望										
委員会判定					市長判定						
必要性	A					必要性	A				
有効性	B					有効性	B				
効率性	A					効率性	A				
総合評価	見直し実施										
6. 評価結果 ※市民評価実績											
総合評価	見直し実施										
備考											